

## 第47回（2019年度）佐々木賞

2019年7月12日に開催した第72回定時総会におきまして、山崎理事長より受賞者各氏に賞状及び副賞が贈呈されました。

- ◎受賞技術： キュタライザー型脱墨剤の開発  
UV硬化型インク対応脱墨剤および脱墨処方の開発  
受賞者： 日華化学株式会社 代表取締役社長 江守康昌 殿
- ◎受賞技術： ファジサイドエアレーションと S.sensing のコンビネーションによる  
品質・操業改善  
受賞者： 栗田工業株式会社 代表取締役社長 門田道也 殿
- ◎受賞技術： 二軸式圧縮分離装置(減容固化機)  
受賞者： 株式会社小熊鉄工所 代表取締役社長 小熊靖生 殿



# 賞状

佐々木賞

栗田工業株式会社殿

これまで紙板紙の品質や操業の改善は製品の品質及びプラントの運転状況をデータ化し取り組んでこられた。その一方で、パルプ調成及び抄紙工程で重要な水質の変動を十分には把握できず、品質や操業の改善に役立てるまでには至っていませんでした。そのような中貴社は平成十二年に国内で初めて抄紙工程に無機系スライムコントロール剤を海外から導入され、さらに連続測定した膨大な水質データを品質や操業のデータとの相関関係を解析し水質変動に応じた処理薬剤の制御添加を行い、水質を安定化させる「Sensingシステム」を開発しました。またパルプ

調成及び抄紙工程内の微生物の汚染による水質変動が内添薬剤の定着に影響を及ぼすことを見出し「無機系スライムコントロール剤」と「エアレーション技術」を組み合わせたこれまでにない微生物コントロールシステムである「生産性操業効率及び環境衛生向上システム」を構築しました。原料工程紙板紙工程排水工程など工場全体の水質に関する総合的なソリューションを提供して製紙産業に貢献しています。国内製紙業界での現在までの適用実績はマシン12台となります。

令和元年七月十二日

紙パルプ技術協会

理事長 山崎 和文



# 賞状

佐々木賞

株式会社 小熊鉄工所殿

製紙業界ではセグエミッション達成のための各種の古紙パルプ原料処理を行い発生する相量の削減を図っていますが、最終的に発生する相は焼却炉による焼却処分や外部処理をしていくのが現状です。パルプ繊維を含む製紙原料粉は固形燃料化には水分が多いため脱水を強力に行う必要がありました。そのような中貴社は従来の減容固化機の下部に脱水機構を設け2本のスクリーンを内回り回転させることで原料をスクリーンが設けられたプレートに圧縮しながら攪拌しこの圧縮攪拌時に

生ずる摩擦熱でプレートを溶融して押し出し圧縮により発生する水分はワーキング下部にある多数のメッシュ穴から効率的に脱水できるよう開発しました。投入前の原材料の含水率約65%をスクリーン排出時には約35%まで脱水させ同時に固形化ができました。その後潜熱による自然乾燥等で約5%まで含水率が低下します。これによりバイオマスボイラ燃料としての固形化が可能となりました。国内外製紙業界でのこれまでの納入実績は10台となります。

令和元年七月十二日

紙パルプ技術協会

理事長 山崎 和文

